

# 健康情報棚プロジェクト

## 活動歴

2026年5月26日現在

(作成：健康情報棚プロジェクト事務局)

# 健康情報棚プロジェクト活動歴（年表2004-2006）

2026年5月26日現在  
（無断転載禁止）

- 2004年（平成16年）：**市民研究グループとして「健康情報棚プロジェクト」発足（8/8）**  
疾患別に情報を串刺し、物理的な棚にEBM資料とNBM資料を並置する「健康情報棚」構想を提唱
- 2005年（平成17年）：**『からだと病気の情報をさがす・届ける』出版（読書工房）（5/10）**  
：東京都立中央図書館に闘病記文庫開設（全国初）（6/16）  
：「健康情報棚プロジェクトの紹介」「みんなの図書館」2005年9月号掲載  
：「闘病記文庫の誕生」「みんなの図書館」2005年9月号掲載  
：「東京都立中央図書館における「闘病記文庫」受入までの経過と雑感」「みんなの図書館」2005年9月号掲載
- 2006年（平成18年）：データベース「闘病記ライブラリー」公開（国立情報学研究所と協働）（6/12）  
：**『闘病記文庫棚作成ガイドライン』作成（希望する図書館等に配布）**  
：鳥取県立図書館に闘病記文庫開設（貸出可能な図書館として第1号）（7/7）  
：愛媛大学図書館医学部分館に闘病記文庫開設（医療系大学図書館として第1号）  
：大阪厚生年金病院患者図書室「ラヴェンダー」に闘病記文庫開設（患者図書室として第1号）  
：『「闘病記文庫」は患者・医療者に何をもたらすか』「情報管理」49巻9号掲載  
：「患者・家族への情報提供を模索する」情報の科学と技術 56 (9)掲載

# 健康情報棚プロジェクト活動歴（年表2007-2009）

2026年5月26日現在  
（無断転載禁止）

- 2007年（平成19年）：『ライフマップシンポジウム：「患者の人生を見える化する」』開催  
（日本二分脊椎症協会と共同主催）（東京・文京区）（3/3）
- ：米子市立図書館「健康情報棚」を開設（同館が自主的に設置）  
（病名別に資料を串刺しする「健康情報棚」構想の実践第1号）
  - ：文部科研『がん対策に特化した患者図書室における闘病記を用いた患者支援の実証的研究』  
研究班に研究協力者として参加 主任研究者：大阪府立大学 和田恵美子講師  
研究期間（2007年度 - 2009年度）
- 2008年（平成20年）：奈良県立医科大学附属図書館で闘病記文庫設置（医学部学生の図書館への要望で実現第1号）（3/10）
- ：『からだといのちに出会うブックガイド』出版（読書工房）（11/28）
  - ：ライフマップ論文Part1：「看護学雑誌」2008年8月号掲載
  - ：ライフマップ論文Part2：「看護学雑誌」2008年9月号掲載
- 2009年（平成21年）：第1回闘病記研究会 「医療資源としての闘病記を考える」（東京・新橋）（1/10）
- ：第2回闘病記研究会 「闘病記は医療者教育に役立つことができるか」（大阪）（10/24）
  - ：ライフマップ論文Part3：医療の質・安全学会誌 4 (1)掲載

# 健康情報棚プロジェクト活動歴（年表2010-2012）

2026年5月26日現在  
（無断転載禁止）

- 2010年（平成22年）：  
：『がん闘病記文庫作成ガイドライン 2011年版』作成  
（全国のがん診療連携拠点病院等378か所に配布）  
：厚労科研『国民のがん情報不足感の解消に向けた「患者視点情報」のデータベース構築とその活用・影響に関する研究』研究班（主任研究者：京都大学 中山健夫教授）研究班に研究協力者として参加 研究期間：2010年度～2013年度  
：山陽小野田市立中央図書館に当時国内最大級の「健康情報棚」開設（66m<sup>2</sup>）
- 2011年（平成23年）：  
：第3回闘病記研究会「闘病記の医学教育への活用」（東京・新橋）（2/5）  
：『闘病記文庫入門』出版（日本図書館協会）（6/10）  
：「第5回あたらしい医療のかたち賞」受賞（医療の質安全学会）（11/19）  
：第4回闘病記研究会「闘病記から学ぶ『医学書にはない表現』」（東京・新橋）（11/26）  
：特集「闘病記研究会シンポジウム」：「薬学図書館」63巻3号掲載
- 2012年（平成24年）：  
：『図書館サービスの可能性』出版（日外アソシエーツ）（1/25）※第6章を分担執筆  
：「患者を知りたい入門講座」Part1開催（東京・品川）（1/28）  
：「乳がん闘病記の内容分析・中間報告」発表（8/25）  
於：第29回医学情報サービス研究大会（東京）

# 健康情報棚プロジェクト活動歴（年表2013-2017）

2026年5月26日現在  
（無断転載禁止）

2013年（平成25年）：第5回闘病記研究会「社会学から闘病記へのアプローチ」（東京・品川）（2/23）

2014年（平成26年）：「患者を知りたい入門講座」Part2開催（東京・新橋）（2/16）  
：第6回闘病記研究会「闘病記を科学する」（東京・新橋）（3/2）

2015年（平成27年）：「情報の非対称性の解消に向けた公共図書館の健康医療情報サービスの取り組み」発表（7/25）  
於：第56回日本社会医学学会

2016年（平成28年）：健康情報棚プロジェクト公式Webサイト公開（8/8）  
：ライフマップ論文Part4発表：「みんなの図書館」2016年6月号掲載  
：第7回闘病記研究会「闘病記が出版される意義・読まれる意義」（大阪）（10/29）  
：「患者当事者の利用に耐える健康・医療情報サービス構築への提言」  
広島女学院大学国際教養学部紀要第3号掲載

2017年（平成29年）：「公共図書館での健康・医療情報サービスにおける免責事項揭示への疑問」発表（8/26）  
於：第34回医学情報サービス研究大会（大阪）

# 健康情報棚プロジェクト活動歴（年表2018-2026）

2026年5月26日現在  
（無断転載禁止）

2018年（平成30年）：「公共図書館における健康・医療情報サービスに対する免責事項の掲示に関する一考察」  
広島女学院大学国際教養学部紀要第5号掲載

2019年（令和元年）：「患者会が発行する患者・家族向けガイドブックの意義」（11/16）  
於：三田図書館・情報学会2019年度研究大会

2020年（令和2年）：「闘病記の病名からのアクセスの可能性：国立国会図書館の調査を中心に」発表（11/17）  
於：三田図書館・情報学会2020年度研究大会  
：データベース「闘病記ライブラリー」閉鎖（Adobe Flash提供終了に伴う閉鎖）（12/31）

2021年（令和3年）：『からだといのちに出会うブックガイドPart2』制作開始（新型コロナウイルス感染症により休止中）

2022年（令和4年）：健康情報棚プロジェクト公式Webサイト閉鎖（7/29）

2023年（令和5年）：

2024年（令和6年）：**健康情報棚プロジェクト設立20周年(8/8)**

2025年（令和7年）：闘病記文庫開設20周年記念講演会（東京都立中央図書館）（6/15）

2026年（令和8年）：健康情報棚プロジェクトWebサイト開設（第2期）（5/26）

# 参考文献（１）

【健康情報棚プロジェクト全般】

健康情報棚プロジェクト編 からだと病気の情報をさがす・届ける 読書工房 2005.5 270p.

石井 保志. 健康情報棚プロジェクトの紹介:新たな情報資源を発掘し、適切な情報を届ける.  
みんなの図書館 (341) 19-30, 2005-09

西河内 靖泰. 健康情報棚プロジェクト(特集「研修会・勉強会案内」)  
医学図書館 52 (4), 320-363, p.348,2005

石井 保志. 患者・家族への情報提供を考える.  
全国患者図書サービス連絡会会報. vol. 17, no. 1, p. 13-16, 2010

北澤 京子; 石井 保志 患者・家族への情報提供を模索する：多職種協働による健康・医療情報の社会提言. 情報の科学と技術 56 (9), 406-411, 2006

西河内, 靖泰; 石井, 保志 患者当事者の利用に耐える健康・医療情報サービス構築への提言：  
—公共図書館を例として—. 広島女学院大学国際教養学部紀要 3 35-45, 2016-03-20

# 参考文献（２）

## 【闘病記文庫】

石井 保志. 闘病記文庫の誕生:闘病記を必要な人に届ける試み.

みんなの図書館. no. 341, p. 3-11. 2005 -09

後藤 久夫. 東京都立中央図書館における「闘病記文庫」受入までの経過と雑感:管理職として感じたこと, 考えたこと. みんなの図書館. no. 341, p. 12-18. 2005 -09

和田 恵美子. 「闘病記文庫」は患者・医療者に何をもちたらすか:健康情報棚プロジェクトの多職種協働活動を通して. 情報管理. vol. 49, no. 9, p. 499-508. 2006

石井 保志, 西河内 靖泰. 闘病記の提供方法の一提言:病名分類による闘病記の提供意義. 薬学図書館. vol. 56, no. 3, p. 240-244. 2011

石井 保志. 闘病記文庫入門：医療情報資源としての闘病記の提供方法. 日本図書館協会, 2011.6, 212p.

星野史雄. 闘病記専門書店の店主が、がんになって考えたこと. 産経新聞出版, 日本工業新聞社 (発売) 2012.10,253p.

石井 保志. 闘病記の病名からのアクセスの可能性：国立国会図書館の調査を中心に.

三田図書館・情報学会研究大会発表論文集 21-24, 2020

# 参考文献（3）

## 【からだといのちの図書コーナー】

健康情報棚プロジェクト, からだとところの発見塾編. からだといのちに出会うブックガイド.  
読書工房, 2008.11 243p.

からだといのちに触れる読書環境の必要性

石井 保志 子どもと読書 (377) 2-6, 2009

## 【患者会資料】

石井 保志. 対談 図書館が患者会と上手に付き合う方法.

西河内 靖泰 みんなの図書館 (470) 25-32, 2016-06

石井 保志. 患者会が発行する患者・家族向けガイドブックの意義.

三田図書館・情報学会研究大会発表論文集 33-36, 2019

# 参考文献（４）

## 【ライフマップ】

患者さんの人生を視る!「ライフマップ」の可能性

五十嵐 歩;大橋 優紀子 看護学雑誌 72 (9), 776-785, 2008-09

二分脊椎症ライフマップの開発による患者の人生の理解と適切な情報提供：患者の主体的医療参加とパートナーシップの実現をめざして

長(大橋) 優紀子; 五十嵐 歩; 鈴木 信行ほか 医療の質・安全学会誌 4 (1), 56-63, 2009

## 【健康情報棚】

石井 保志 患者さんの人生を支える「情報支援」：クリニカルパスを応用したライフマップと健康情報棚  
看護学雑誌 72 (8), 682-690, 2008-08

石井 保志 図書館員が絶対にできない選書：患者会にどんな資料を使ってきたか聞いてみた  
みんなの図書館 (470) 33-41, 2016-06